

シラバス参照

科目名	産業心理学
配当年次	2年次
開講期間	前期
単位数	2
担当教員	江 秀華(コウ シュウカ)
期間・曜日・時限・教室	前期 水曜日 3時限 13-202

※	
授業の目的・目標	<p>(1) 授業の概要 この授業は、経営学分野の応用レベルの科目です。産業心理学は経営学の一分野で私たちが企業や組織の中でよりよく生活し、よりよく働くため、労働者の心理や行動の特性を理解し、組織全体との関係性や問題点についても学びます。 ※授業実施形態については主に「対面授業」ですが、コロナ感染状況による「双方向のリアルタイムのオンライン授業」に変更する場合があります。</p> <p>(2) 授業の目的 就職活動の前に、「ワークライフ」を理解し、社会という組織の多様な要素を把握していくことを目的とします。ワークライフを本格的に経験していない学生にとって、まずはワークライフをもっと身近に感じ、その方法や知識などを理解することが必要です。</p> <p>(3) 学習成果 仲間や友人と一緒に目標に向かって協力する力や組織行動や人的資源管理に関する基本的な知識といった職業人として活躍できる幅広い教養を身につけ、また、思考力と自分の意見を持つことができるようになります。 (ビジネス総合学科DP②考える力③協力する力④職業人として活躍できる幅広い教養に該当します)</p> <p>(4) 授業の到達目標 4年制大学の学部編入や専門課程に進むことができる能力の修得をめざします。 また、グループ・ディスカッションやケーススタディの学習を通じて、社会人として適切にふるまうことができる思考力、判断力、表現力や倫理観を身につけること、そして、社会の多様性の理解ができ、貢献できる能力を学習の到達目標とします。 (短大DP①広い教養と、深い専門的な知識や技能を備え、地域社会や国際社会で活躍できる能力②社会人として適切にふるまうことができる思考力、判断力、表現力や道徳的能力③社会の多様性に配慮して主体的かつ協同的実社会で貢献できる能力に該当します)</p>
準備学習等の指示	毎回の授業の指示に従い、様々な課題について次の授業で自分の意見が発信できるように内容や資料を準備すること。(授業外の学習は各授業について約2～3時間程度)。
講義スケジュール	<p>【授業計画】</p> <p>第1回【テーマ】ガイダンス産業心理学とは何か 何を学んでいくかを理解できるようになる。</p> <p>第2回【テーマ】採用と面接 就職活動では何が問われているかを理解できるようになる。 (グループに分かれてディスカッションする場合がある)。</p> <p>第3回【テーマ】ワーク・モチベーション① やる気いっばいで働くには何が必要かを理解できるようになる。 (グループに分かれてプレゼンテーションする場合がある)。</p> <p>第4回【テーマ】ワーク・モチベーション② やる気いっばいで働くには何が必要かを理解できるようになる。 (グループに分かれてディスカッションする場合がある)。</p> <p>第5回【テーマ】組織の情報処理とコミュニケーション 正確な情報共有と組織の的確な判断のために何が必要かを理解できるようになる。 (グループに分かれてディスカッションする場合がある)。</p> <p>第6回【テーマ】仕事の能率と安全 生産性と安全性は両立するかについて理解できるようになる。 (グループに分かれてディスカッションする場合がある)。</p> <p>第7回【テーマ】職場の快適性・疲労・ストレス 毎日健康に働くために何が必要かを理解できるようになる。 (グループに分かれてディスカッションする場合がある)。</p> <p>第8回【テーマ】キャリアの展開と生涯 人生をどう歩むかを理解できるようになる。 (グループに分かれてプレゼンテーションする場合がある)。</p> <p>第9回【テーマ】組織の変革 組織やチームを健全な成長へと導くには何が重視されるべきかを理解できるようになる。 (グループに分かれてディスカッションする場合がある)。</p> <p>第10回【テーマ】管理者のリーダーシップ 多様化するリーダーシップの考え方について理解できるようになる。 (グループに分かれてディスカッションする場合がある)。</p> <p>第11回【テーマ】人事評価 公平な評価のために考えるべきことについて理解できるようになる。 (グループに分かれてディスカッションする場合がある)。</p> <p>第12回【テーマ】消費者行動 消費者心理がわかると何の役に立つのかを理解できるようになる。 (グループに分かれてディスカッションする場合がある)。</p> <p>第13回【テーマ】消費者の価格判断と心的会計 なぜ「安い」「高い」と感じるかを理解できるようになる。 (グループに分かれてディスカッションする場合がある)。</p> <p>第14回【テーマ】消費者の意思決定過程 消費者はどんな決め方について理解できるようになる。 (グループに分かれてディスカッションする場合がある)。</p>

	第15回【テーマ】まとめ 内容に応じて、グループディスカッション・グループ発表・ケーススタディのグループ研究を行う。
教科書	『経営とワークライフに生かそう! 産業・組織心理学』改訂版 山口 裕幸、他著 有斐閣アルマ
参考文献	必要な際に指示します。
授業の方法	講義60%、討論(ディスカッション)/発表(プレゼンテーション)40%の組み合わせ
成績評価方法	平常点(授業への参加・貢献、授業時間内に取り組む課題の成果):30%、グループディスカッションおよび課題提出:20%、期末レポート(もしくはプレゼンテーション発表):50%。 ※授業実施形態については主に「対面授業」ですが、コロナ感染状況による「双方向のリアルタイムのオンライン授業」に変更する場合があります。 ※※ディスカッション・プレゼンテーション後にタイムリーフィードバックを行います。
オフィスアワー	年度初めに発表します。
居室	坂戸キャンパス:13号館610研究室。
ホームページ	
その他特記事項	履修登録者数による授業計画を変更する場合があります。
添付ファイル	